

目標達成計画

作成日：平成 23 年 2 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 身体拘束は一切行っていないが、同じ敷地内に老健があり入所者やグループホームの入居者が庭に自由に出入れる為共有している門の施錠はやむを得ない。	日中、門の施錠しない。	隣接の老健にも相談し、日中のみ施錠しないことを取り決めた。見守り強化することにより、離設がないように注意する。しかし夜間に限ってはグループホームが責任もって門の確認をするようにする。	3ヶ月
2	2	○事業所と地域とのつきあい グループホームのパンフレットを町の関連施設に置かせてもらっているが、隣接の介護老人保健施設と比べ、グループホームの地域での認知度が低い。	地域での認知度を上げる。	地域の清掃活動が年2回行われているが、その活動に参加し、地域の人と顔なじみになりグループホームを知ってもらうことから始めたい。また地域行事(運動会や、文化活動)にも出来るだけ参加していきたい。また、ボランティアなどもつくりグループホームに出向いてもらうよう図っていきたい。	10ヶ月
3	35	○災害対策 年2回併設施設と合同で昼夜想定のもと避難訓練を実施している。災害マニュアルも作成しているが白石町では水害が想定されるため、それに対する災害訓練が必要である。	地域の消防団にグループホームを知ってもらうことにより協力体制を築いていく。	運営推進会議のメンバーに加わって頂くよう依頼し、グループホームの認知をもらう。また、いろいろな助言や意見をしてもらうことにより災害の場合の協力体制作りを行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。